

# 一 般 質 問 通 告 事 項

(平成29年第4回白岡市議会定例会)

## 第1通告者

13番 石原富子 議員

### 1 多発する特殊詐欺の対策について

近年、高齢者を狙う「オレオレ詐欺」に始まり、様々な特殊詐欺が横行している。被害に遭わないために白岡市としての対策を伺う。

- (1) 最近の特殊詐欺の犯罪傾向をどう捉えているか伺う。
- (2) 白岡市内でも被害が出ているが、現状をどう捉え、対策をどのようにしているか伺う。
- (3) 若者が犯罪に関わる傾向がある。学校教育が重要だと考えるが教育委員会の見解を伺う。

### 2 教師の働きすぎについて

教師の働きすぎで自殺者まで出て大きな社会問題になっている。国も埼玉県も対策を検討中と聞くが、白岡市の現状と対策について伺う。

- (1) 教育委員会としては、この社会問題をどのように捉えているか伺う。
- (2) 原因をどのように考えているか伺う。
- (3) 白岡市の教育現場ではどうか伺う。
- (4) 解決策をどのように考えているか伺う。

## 第2通告者

14番 大倉秀夫 議員

### 1 空地、遊休農地の安全対策について

市内のあちらこちらに空地や遊休農地に雑草が繁茂し危険が伴う。関係地権者に通知し、早期に刈取り除去依頼はできないか。市では、どのような対策を考えているのか。

### 2 防犯推進委員に揃いのジャンパーまたはチョッキ等の支給を

防犯推進委員に、目立つジャンパーかチョッキ等支給したら安全対策、防犯対策、防寒に役立つのではないか。今後の支給の考えはどうか。

3 旧春日部菖蒲線道路から公民館西側に通ずる道路を一方通行にできないか。

旧春日部菖蒲線道路から金子時計店を公民館方向へ行く道路は、道幅が狭く、通行者や対向車が多いため危険性が高いので、一方通行にできないか。

第3通告者

8番 遠藤 誠 議員

1 丁寧な民主主義と区長会長選出方法について

- (1) 今も地区代表による互選なのか。
- (2) 何故そうなのか。
- (3) 改めないのか。

2 若者よそ者の声を活かすのは市の全施策に通じるのでは

- (1) 若者よそ者の声を活かすのは、市の全施策に通じるのでは。
- (2) 若者よそ者の積極的登用は、市の普遍的方針とするのか。
- (3) いわゆる新住民はよそ者と考えてよいか。

3 政治のモラルについて

- (1) 市長の後援会に深く関わる方は、公職に距離を置くべきではないか。
- (2) 委員会等に係る兼職は改善（数を減らす）されたのか。

4 白岡中周辺の土地利用について

既存の商業地域、近隣商業地域と新しい商業地域について、県との交渉の進捗はいかがか。

5 教育と保育の融合について

- (1) 学校行事に学童の支援員を招くことは、教育委員会の方針として取れないか。
- (2) 市長として学校と学童の薄いつながりをどう考え、どう方向付けるか。

第4通告者

3番 関口 昌男 議員

1 生活困窮者の子どもたちの学習支援事業について

- (1) 現行の学習支援事業の内容について。
- (2) 支援事業は白岡市内での実施が望ましい。

- (3) 学習支援事業の更なる充実を。
- (4) 学習支援事業を小学生まで延長しては。

## 2 白岡市の農業振興政策について

- (1) 日本の農業の実態と白岡市の総合振興計画について。
- (2) 今年の米価の見通しと価格保障について。
- (3) 来年度の米価対策について。
- (4) 白岡市における農地中間管理事業について。
- (5) 新規就農支援について。
- (6) 総合的な農業支援施策の検討を。

## 第5 通告者

6 番 細 井 公 議員

- 1 アスベスト水道管の使用地区があるが早期の改修交換を求める  
アスベスト管の使用地域と病気原因に関連がないのか。
- 2 白岡駅の駅長、駅員不在の問題について  
交通インフラの視点からの白岡駅の人員再整備を求める。

## 第6 通告者

17 番 高 木 隆 三 議員

- 1 空地の除草対策について
  - (1) 白岡市内の空地除草を行った箇所は何か所か。
  - (2) 所有者に対し、除草依頼しても応じない件数とその対応をどのようになっているのか。
  - (3) 迷惑空地のデータベース化はされているのか。
  - (4) 所有者不明空地の雑草は危険なため、市は対策を講じる必要があるが市の考えは。
- 2 認知症徘徊対策について  
認知症高齢者が徘徊中に事故に遭い、家族が高額の損害賠償を請求される事態を回避するため、公費で保険料を全額負担する制度を導入する考えはないか。
- 3 公用車にドライブレコーダーの活用を
  - (1) 久喜警察と映像提供に関する協定を結び、犯罪や交通事故情報を保存し情報提供する考えはないか。
  - (2) 「ドライブレコーダー作動中」のステッカーを使用する考えは。

- (3) 自主防災車両として使用している、行政区長個人所有車両や交通安全協会所有のパトロールカー等に設置費用の助成をする考えはないか。

第7通告者

16番 菱 沼 あゆ美 議員

1 命を守るAED設置について

- (1) 白岡市AED普及推進計画の進捗状況を伺う。  
(2) 貸出用とコンビニエンスストア設置などによる24時間使用可能なAEDについて伺う。  
(3) 交番への設置など、更なる設置の可能性について。

2 選挙投票の支援について

- (1) 10月に行われた衆議院選挙の投票率、期日前投票数、当日投票数などについてと、その推移状況は。  
(2) 期日前投票所の増設を望む声が多くあった。利便性を考慮し、増やす必要があると考えるがどうか。  
(3) 期日前投票の宣誓書を、入場券と一緒に送付をしてはどうか。  
(4) 今回は悪天候の影響を受け、投票所へのアプローチが冠水するなど、通りにくい状況が発生した。投票所の課題と今後の対策を伺う。

3 特定健診と市民の健康向上について

- (1) 特定健康診査の市の現状と課題は。  
(2) 課題に対する取組は。  
(3) 特定保健指導の取組状況と成果は。  
(4) 市民の健康意識を高める一助として、健診やがん検診などの各種受診記録や結果をまとめておける「白岡健康ファイル」を作成し、市民が活用をできるように配布してはどうか。

第8通告者

5番 松 本 栄 一 議員

1 歯科口腔保健の推進について

- (1) 児童・生徒の歯科検診における歯科疾患の現状は。  
(2) 乳幼児・成人に対しての歯科口腔保健推進の実施状況は。  
(3) 県内では、歯と口腔の健康づくりを推進するため、条例を制定している市・町が増えているが、当市の現状及び制定の予定は。

第9 通告者

2 番 渡 辺 聡一郎 議員

1 大規模災害への対応力の強化について

- (1) 10月に発生した台風は、各地で被害をもたらした。市が把握している市内の被害状況と今後の災害対策の課題はどこにあると考えるか。
- (2) 市の遊水機能と排水機能の現状について伺う。「遊水池・調整池」や「アンダーパスの排水機能」の適切な管理はなされているか。
- (3) 災害時の情報発信と情報共有について。「防災行政無線の難聴地域調査」と「情報共有の仕組みづくり」は行われているか。
- (4) 避難所運営の考え方を伺う。避難所運営の流れ、避難所運営委員会・支援班の組織、ペット等の対応について。
- (5) 今後の災害対応力の強化について市長の考えを伺う。災害対策本部の図上訓練など指揮系統を含む訓練が必要ではないか。

2 都市と緑の交流について

- (1) 近年の市民農園（ふるさと農園）の利用状況を伺う。応募状況と利用率は。
- (2) 市民農園の整備・拡大についてどのように考えるか。農を通じた都市住民の交流を促進すべきと考えるがいかがか。
- (3) 市民農園や農の情報発信について。都市住民に向けた発信を行っていくべきではないか。
- (4) 市民農園におけるサポート、また農業ボランティアのサポートはどのように行っているか。

第10 通告者

15 番 江 原 浩 之 議員

1 下野田地内の一里塚周辺整備について

- (1) 下野田地内の一里塚の現状について。
- (2) 観光資源の一つとして、また、菁莪地区の活性化のためにも一里塚周辺整備の考えはないか。

第11 通告者

9 番 黒 須 大 一 郎 議員

1 選挙啓発と商工振興について

- (1) 投票率・選挙人登録者の推移、投票所の変遷及び開設にかかる費

用は。

- (2) これまでの選挙啓発は、どのようになっているのか。そして、その成果は。
- (3) 2012年に、横浜で始まったセンキョ割運動は、全国に広がり、今では活動団体は10以上ある。センキョ割運動で地域を盛上げ、かつ選挙を身近に感じ、商工振興に繋がる選挙割の取組はどうか。
- (4) この取組の課題は何と考えているのか。また、低迷する投票率や苦境の地元経済にも効果ある他の手立てはあるのか。

## 2 新生涯学習センターの管理運営計画について

- (1) 委託管理ではなく、直営方式とのことだが、不足する人員をどうするのか。  
※ 現行よりどのくらいの増員が必要と想定しているのか。
- (2) 行財政と人材育成等を考え、一部の職員を派遣で補う考えは。
- (3) 生涯学習センターは、細かなルールで縛らない運営を目指して欲しい。そのためにも長は、部長級以上と考えるが。
- (4) 「こもれびの森」(公共施設) サポーター制度の考えは。
- (5) 個人用有料席コーナーの設置の考えは。

※ 市民活動・交流スペース等にニーズの多様化と受益者負担から、電源付きの、設えの良い席を。

## 3 白岡中学校周辺区域土地利用協議会とその他の地域の土地利用について

- (1) 白岡のこれまでの区画整理事業において、市が繰り入れた金額は、各区画整理事業で各々いくらか。  
※ 進行中の事業も含む。
- (2) 本協議会は、平成28年2月に公募により設立された白岡中学校周辺区域における土地利用を考える会を経てできたものと認識している。当協議会及び同協議会役員会は、公共なのか民間(私的機関)なのか。
- (3) 本協議会の役員選出方法は。また、事業実施までの流れでは、役員会は、事業手法・事業主体を初め、重要事項の検討策定や課題整

理等の一役を担い、事業終結まで関わるとしている。なぜ、会議が原則非公開なのか。

(4) 野牛地区の土地開発業者による同地区の開発行為等を市は、どう把握しているのか。

(5) 業者による地権者説明会での対象区域は、近年土地改良を実施した農用地域であり、第5次総合振興計画の土地利用基本計画でも農業ゾーンとしているが、もはやこの計画構想では、白岡の可能性を奪うものになってきているのでは。

※ 相次ぐ市の推進地区外での利用計画で。

第12通告者

4番 齋藤信治 議員

### 1 子ども医療費無償化の効果

今年1月より、18歳までの医療費無償化を始めた。当該施策を実施するにあたり、目標や期待していた効果があると思われる。まもなく1年経過する。検証すべき時期になった。

(1) 目的・効果・予算について伺う。

(2) 利用状況・費用について伺う。当初予定との差異はいかがか。

(3) 目的・効果は達成できているか。

(4) 無償にも関わらず、当該サービスを享受できていない子どもはいないか。検証し、ニーズを把握すべきではないか。

### 2 口から見える貧困

『口腔崩壊』という現状が認識されてきた。子どもたちの齲歯は着実に減少してきたが、『口腔崩壊』状態の子どもたちが一定数いることが分かってきた。背景に家庭の問題などがあるといわれている。当市の現状を伺う。

(1) 市内小中学校児童生徒の歯科の状況を伺う。

(2) 齲歯の処置歯数は100%になるのか。未処置のままの子どもは、いないか。

(3) 兵庫県保険医協会によると『口腔崩壊』の子どもは、市内に3人程度いると思われる。未処置の子どもを調査する必要があると思うがいかがか。

(4) 無償でも治療できない子どもへの対応策を検討すべきと思うがいかがか。